

かすみがうら市議会産業建設委員会会議録

令和6年7月22日 午前10時55分 開 議

出 席 委 員

委 員 長 佐 藤 文 雄  
副委員長 鈴 木 貞 行  
委 員 岡 崎 勉  
委 員 石 澤 正 広  
委 員 塚 本 直 樹

欠 席 委 員

な し

委 員 外 議 員

な し

出 席 説 明 者

産 業 経 済 部 長 貝 塚 裕 行  
観 光 課 長 猪 俣 直 宏

出 席 書 記 名

議会総務課主幹 川原場 智

## 議 事 日 程

令和6年7月22日（月曜日）午前10時55分 開 議

1. 開 会
2. 事 件
  - (1) 水郷園について
  - (2) かすみがうら市農村環境改善センターの新たな利活用について
  - (3) その他
3. 閉 会

---

開 議 午前10時55分

○佐藤文雄委員長

ご苦労さまです。

委員の皆さんにはお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席委員は5名で、会議の定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから産業建設委員会を開きます。

今日は傍聴がございませんので、そのまま進めていきたいと思います。

次に、書記を指名します。

議会事務局議会総務課、川原場主幹を指名いたします。

本日の日程は、会議次第のとおりであります。

それでは早速、本日の日程事項に入ります。

初めに、水郷園についてを議題とします。

説明を求めます。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

それでは、水郷園について説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、先ほど現地のほうを確認いただきまして、今7月29日のオープンに向けて準備をしているというところでございます。

予約状況につきましては、7月29日初日の予約が入っておりまして、今現在3カ月間の中で15日ぐらい……では、詳細については観光課長、猪俣のほうから説明いたします。

○観光課長（猪俣直宏君）

水郷園の予約状況でございますが、プレスリリースを7月上旬にかすみがうら未来づくりカンパニーのほうでしておりまして、そういうプレスリリースや宣伝等もありまして、オープンの29日の初日も既に予約で埋まっておりまして、あと、お盆の時期も大体埋まっている状況でございます。7月は29日からなので、3日ぐらいいしかありませんが、8月末、9月も1件ほど予約が入っているのを確認してございます。8月だけで10件超ぐらいの予約が今入っている状況でございます。

○佐藤文雄委員長

以上で説明が終わりました。

ただいまの説明におきまして、ご質問等がありましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

○石澤正広委員

すみません、10件で国内かインバウンドかというのは大体分かりますか。

○観光課長（猪俣直宏君）

ちょっとそこは確認取れてないんですが、恐らく国内の方であると思います。

○石澤正広委員

はい、分かりました。

○佐藤文雄委員長

何か説明によると、名前と住所だけらしいですね。ですから、横文字がなかったんでしょう、恐らく。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

内々には何か1件だけ申込者が日本人で、お連れのパートナーが外国人の方が1組あるようだというお話は聞いております。

○観光課長（猪俣直宏君）

そのほか補足させていただきますと、茨城県で11月に台湾の旅行博に出店する予定がありまして……

○佐藤文雄委員長

旅行博という、そういう博覧会みたいなやつを、台湾で。

○観光課長（猪俣直宏君）

茨城県が台湾に行って、旅行博に茨城県のブースとして出店をする予定を聞いておりますので、かすみがうら市としても茨城県に職員が帯同するなどして、この江口屋、水郷園をPRしていきたいと思います。あと、うちの強みといいますと、千代田地区の果樹観光なので、千代田地区の果樹観光に加えて、宿泊施設が新しくこういうふうにあるというのもPRしていきたいと思っております。先ほどお配りしたその水郷園等のリーフレットも日本語ではないパターンも今後検討していきたいと考えております。

○佐藤文雄委員長

11月に台湾で旅行博があり、茨城県が出店をする。その出店の中に千代田地区の観光と同時に、泊まるところ、宿泊する江口屋とか水郷園を紹介をしたいと。ということは、未来づくりカンパニーが行くんですか。

○観光課長（猪俣直宏君）

茨城県の職員が行きますので、本市の観光課で何人か、1人か2人は行きたいと思っています。本市が単独で台湾の旅行博にブースをやっても、あまり本市単独では弱いと思いますので、本市は茨城県全体のPRの中で、宿泊は本市に泊まってくださいというか、一番お金が落ちる、宿泊にちょっと注力して宣伝したいと思っております。

○佐藤文雄委員長

あと、ほかにいかがですか。

○岡崎勉委員

これは、今はそういう宣伝だけでも、通常の宣伝というのはどういうPRで、どういうふうにしていたんですか、今現在は。

○佐藤文雄委員長

現在のPR。

○観光課長（猪俣直宏君）

現在のPRは、かすみがら未来づくりカンパニーが指定管理者として水郷園を運営しますので、江口屋と同様に未来づくりカンパニーが今ホームページをつくりましたので、そこが基本のPRで、あとはOTAと言いまして、ネット上での予約ができるような、そういうサイトのほうのPRとか、そういうのは基本的には未来づくりカンパニーがやっていく形です。

○岡崎勉委員

大きいところはいいけれども、身近なPRはどんなふうにやるのかなと思って。

○佐藤文雄委員長

身近なPR。

○観光課長（猪俣直宏君）

市の広報誌でも、今度の広報誌でかすみキッチンのリニューアルと水郷園のオープンについて、市民にはお伝えをさせていただきます。あとは茨城県のディステネーションキャンペーンと言いまして、茨城県からも宣伝できるように、江口屋のときもそういう形で宣伝をしましたので、同じように県内にもPRをしていきたいと思っています。

○岡崎勉委員

割と地元の人が分かってなくて、ほかの人から聞いて、そういういいところがあるのにと指摘される事があるよね。だから、大きいところへどんどんPRしても、やっぱり地元もある程度分かってもらってもいいのかなという気がいたします。

○佐藤文雄委員長

かすみがうら市の事業として、こういう観光の取り組みを新たに始めましたということが、我々の一般住民にきちっと知らせるということも大事だと思いますので、その点についてはぜひ決定していただきたいと思います。

あとほかにございますか。

いいですか。水郷園の概略をちょっと説明しておいたほうがいいかなと思うんですけども、基本的にここに会議録を取っておきたいと思いますので。

○観光課長（猪俣直宏君）

では、リーフレットをご覧くださいければと思います。

こちらの水郷園につきましては、前回、条例の改正のときにもちょっとお話しさせていただいたと思いますが、江口屋とはちょっと差別化した形で、1棟貸しということで、1日1件のお客様を迎え入れる施設として、7月29日にオープンを予定しております。江口屋と同じように、コンセプトとしましては、最高の朝に出会える宿というコンセプトの下に、霞ヶ浦から朝日が望める施設として、江口屋と違って、ちょっと高台にありますので、そういった景色も皆様に堪能いただくこと、また、水郷園につきましては通りに面しておりませんので、静かな形でひっそりというか、誰にも見られないような、そういう空間をつくることをコンセプトに改修もしております。今後、木の伐採とか、もう少し枝打ち等も予定はしていきたいと思いますが、あまりにオーシャンビューというような、そういうイメージではなく、ちょっと木々の間から湖が見れるような、そういう形にしていきたいと考えております。江口屋は1日2組まで予約を取っておりますので、こちらはゲストハウスということで、それぞれ泊まったお客さんたちが交流もできるような、そういうコンセプトも入っておりますが、水郷園につきましてはもう完全に……

○佐藤文雄委員長

一棟貸しだから。

○観光課長（猪俣直宏君）

はい、そういう形でございます。

あと、前回、委員会でもお示しさせていただいたように、水郷園につきましては、かすみがうらの食とか文化とか歴史、滞在といった、そういう一連を組み合わせた霞ヶ浦ガストロノミーツーリズムを醸

成していこうというコンセプトも入っておりますので、料理につきましてもこだわりのある料理を考えていきたいと思っております。先ほどお配りした資料が料理のイメージになりますが、今後3種類のメニューを開発することとして東京から有名な料理の先生をお呼びして、料理を監修いただいております。

○佐藤文雄委員長

ああ、それであそこでお湯を沸かしていて、シェフがいたんだな。

○観光課長（猪俣直宏君）

そうです。かすみキッチンのシェフだった長岡さんが、そういう見せ方とかに関して、教えていただいております、今後かすみがうらの天然ウナギなども料理を開発していきたいと考えております。

○佐藤文雄委員長

ありがとうございました。

○岡崎勉委員

パンフレットは、どこかでもらえるところありますか。今度8月に茨城県でちょっと集まりがあるので、後で5部くらいもらえれば。今日でなくてもいいですよ。

○佐藤文雄委員長

パンフレットはもう出来上がったんですね。

○観光課長（猪俣直宏君）

はい。

○佐藤文雄委員長

必要な量はどのくらいのパンフレットの量を用意したんですか。パンフレットの量。

○観光課長（猪俣直宏君）

一応今1,000部、この緑のパンフレットと同じようなものを作っています。

○岡崎勉委員

これをコピーするか。もうこれで完成でしょう。

○観光課長（猪俣直宏君）

それもコピーすれば大丈夫です。これは取り急ぎ昨日200部だけ送ってもらって、残りはまた近いうちに、今週には届くと思います。

○石澤正広委員

水郷園はチェックイン、チェックアウトというのは時間が何時ですか。

○観光課長（猪俣直宏君）

ちょっと時間を詳しく聞いてなくて申し訳ないのですが、江口屋と同じですと、チェックアウトは10時で、チェックインは3時ですね。

○佐藤文雄委員長

チェックインが15時。

○観光課長（猪俣直宏君）

チェックイン15時。

○佐藤文雄委員長

チェックアウトが10時。

○観光課長（猪俣直宏君）

江口屋はそういう時間でやっています。

○佐藤文雄委員長

大体どこでもそうなんだ、ホテルは。

○観光課長（猪俣直宏君）

ちょっと後で詳細は確認させていただきました。

○佐藤文雄委員長

1棟貸しだからな。

ほかにありませんか。

○鈴木貞行副委員長

先ほども言ったんですけれども、今の時期だと、やっぱり白魚が取れ始めているし、ワカサギもかなり貴重なものになってきましたので、逆に言うと付加価値がつくと思うので、ぜひお客さんには、少し前菜みたいな感じでちょこっとでいいと思うので、そういうのも入れてもらって、あとは冬だったら、鯉のあらいとかが、やっぱり前菜で少し、そんな量は要らないと思うので、そういうのもやっぱり地元の食材として、ほかではなかなか食べられないので、そういうのを入れてもらえたらと思います。そういう要望です。

○観光課長（猪俣直宏君）

資料を見ていただければと思うのですが、一番手前のお皿に白魚が入った……

〔「白いのね」「真ん中の写真ね」と呼ぶ者あり〕

○観光課長（猪俣直宏君）

この黒いお皿の写真の一番手前の小皿が白魚をあえてます。白魚を釜揚げしてあえたもので、その右上にレンコンの天ぷらが見えると思うのですが、これはそのレンコンの天ぷらのわきがワカサギを春巻きのような皮で巻いて、というのは、外国人って魚の目が見えるのが嫌だという方もいるらしいんです。だから、ただのワカサギのフライの見た目より、ちょっと衣をまといせたというか、春巻きの皮を巻いて揚げてます。これは江口屋で今ビールを醸造しているのですが、衣に使う小麦粉に水じゃなくて江口屋のビールで、ヨーロッパのほうだとワインとかを小麦粉に混ぜてフリットという食事の名前になるんですが、これは資料の右上に季節の春巻きと、これはワカサギを巻いたやつなんです、あとレンコンのフリットと書いてありますのは、そういう意味で小麦粉にお酒というか、ビールを混ぜたので、レンコンの天ぷらではなくて、フリットという表現にしたと聞いております。

○佐藤文雄委員長

では、要望よろしいですか。

○鈴木貞行副委員長

はい。

○佐藤文雄委員長

あと、ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

いいですね。

それでは、次に、かすみがうら環境改善センターの新たな利活用についてを議題といたします。

説明を求めます。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

それでは、農村環境改善センターの新たな利活用について、観光課、猪俣課長より説明をさせていただきます。

○観光課長（猪俣直宏君）

それでは、農村環境改善センターの新たな利活用について、資料を基に説明をさせていただきます。

この施設につきましては、本年度4月1日より施設の老朽化等もありまして、休館となっております。ただ、施設の改修費が本市のほうでもなかなか多額の改修になってしまう負の連鎖のような状態になっているので休館としておりますが、施設の利活用に興味・関心がある民間事業者から相談もがあったことから、本市としまして、今後、事業提案型一般公募を実施しまして、施設の効率的・効果的な管理運営及び有効活用を図ることといたします。

こちら（１）施設の概要が記載されておりますが、この施設の概要、（２）構造でございますが、この建物、鉄筋コンクリート造りで、地上３階となっております。

（３）敷地面積でございますが、こちら駐車場も全て入れまして約10,000平方メートルとなっております。建物は３階建て、延べ面積が約1,200平方メートルとなっております。

（４）に記載のように、当時この建物は昭和57年11月に起工しまして、２年後の昭和59年に竣工してございます。竣工後、昭和59年の11月１日に開館をしておりますので、ちょうど40年ぐらいたっております。

（５）事業費につきましては、これは建物の事業費を記載させていただいておりますが、建築費が当時２億30万円しております。国や県の補助金が入っております、国・県の補助金が１億4021万円でございます。うち国が50%、県が20%で、合計７割の補助が入った建築となっております。

（７）の活用事業といたしましては、農林水産省の農村総合整備モデル事業を活用して建築しております。

内部詳細については（８）に記載のとおりでございます。

２番、施設及び周辺の状況でございますが、本市では歩崎を観光拠点といたしまして、ナショナルサイクルルートに指定されたつくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、また、観光の拠点である交流センター（畔の駅コハン）、また、旧佐賀小学校を利活用して民間がキャンプ場としてCAMP i e c e（キャンピース）がキャンプ場として活用しているほか、さらには宿泊施設としまして古民家江口屋、また、先ほど説明させていただいた来週オープン古民家水郷園など、ハード面において年々整備が進んでおるとともに、また、サイクリングイベントや栈橋を活用した水辺のアクティビティといった体験型コンテンツの充実など、ソフト面においても充実化を図っているところでございます。

一方で、農村環境改善センターにつきましては、これまで地域の方が幅広く利用していましたが、施設の老朽化、また、新型コロナウイルス感染症の流行による行動変容もありまして、貸し館、宿泊ともに利用者の減少が著しい状況でございます。

このような状況を踏まえまして、この施設につきましては民間活力による活用へと方針を定めまして、事業者が参入できる体制づくりを整えたいと考えております。

次のページでございますが、３番、近年の状況を表にしてございます。利用実績及び維持管理費としまして、令和５年度につきましては、利用者数約1,000人、維持管理費につきましては約580万円、使用料収入は約28万円程度となっております。

４番、今後の主なスケジュールでございますが、今月、公有財産取得価格等評価委員会を内部で開催いたしまして、貸し出す際の予定価格のなところを設定してございます。また、本日の委員会を経て、地元の方で構成されております農村環境改善センター管理運営委員会も今月開催を予定してございます。

８月に全員協議会で説明をさせていただきまして、こちら５番の施設敷地に地図があると思うんですが、南の黄色部分が地元の方の借地となっております。この黄色い部分が借地となっておりますの

で、この借地地権者との協議も本市としましては、本市が買収していきたいと考えてございます。その地権者との協議も今後進めていきます。

9月に公募を開始しまして、審査会を経て、10月には基本協定を締結し、地域住民への説明会を開催しまして、第4回定例会において設管条例の廃止を考えております。設管条例の廃止をした後、年明けに契約をしまして、年度末から年度始めの頃に引渡しをできるように進めていきたいと考えてございます。

先ほどのお話しした借地権者の協議につきまして、そのほかにはこの改善センター、公共施設ですので、公共施設は登記がない建物がほとんどですので、今後、7建物の登記に関わる費用、また土地の測量や分筆、あと、先ほどお話しさせてもらったように、土地の借地の部分を買収していきたいと考えているところでございます。

○佐藤文雄委員長

今回の民間活力を生かして譲渡というか、貸し出すような形になるかと思うのですが、リニューアルも含めて民間業者が行うということなんでしょうか。

○観光課長（猪俣直宏君）

はい、そのとおりでございます。本市としましては、自由に使っていいので、改修のほうも自由にしてくださいという形でお貸ししたいと考えております。

○佐藤文雄委員長

それから、地元の方が時々利用している。この前も運営委員会があつて、定期的に集会を開いているということがあったんで、その際は改善センターを貸してほしいということで作ってきたんですが、今後の対応についてはどのように考えていらっしゃいますか。

○観光課長（猪俣直宏君）

地元の会議で、例えば佐賀地区公民館の支館の会議とか、そういう形につきましては、歴史館のわきにあります研修施設、昔ビジターセンターと呼んでいたあの施設の奥が大きい会議室のようになっておりますので、そこを使えるように、現在、教育委員会と、観光課が直接窓口ではないんですが、地域コミュニティ課も絡んで、今使えるように調整しているところでございます。

○佐藤文雄委員長

それから、借地の件ですが、これは1、2、3、4と4筆あるということなんですか。4筆ということは、地権者は4人ということなんでしょうか。

○観光課長（猪俣直宏君）

こちらおっしゃるとおり4筆で約4,000平方メートルが借地となっておりますが、地権者は1人でございます。地元の方が1人でございます。

○佐藤文雄委員長

もう一定程度お話は進んでいるんですか。まだ話はしてない。

○観光課長（猪俣直宏君）

一度だけお話をさせていただいたところ、まだはっきりと決まったわけではないのですが、内諾的な形で本市が活用するのであれば協力はできますというお話はいただいております。

○佐藤文雄委員長

はい、分かりました。

ほかにご質問ございますか。

○鈴木貞行副委員長

ここ避難所指定になっていると思うんですけども、もし相手方に提案していただいたので、貸すということになった場合に、避難所という条件について、最初の公募のときに入れたりはするんですか。

○観光課長（猪俣直宏君）

そこは条件にしていきたいと考えておりますし、先ほど民間からちょっと相談があったという事業者にも、その話はちょっとしましたが、ぜひ本市と防災協定も結んでもいいですし、災害時の際に開放するのは全然問題ないですというお話もいただいておりますので、本市としましては条件にしたいと考えております。

○鈴木貞行副委員長

ありがとうございます。

○佐藤文雄委員長

避難所という役割を果たしているので、プロポーザルをやるときの審査会の条件として防災協定なり、避難所としての役割を果たすことを条件にして公募するということだと理解してよろしいですか。

○観光課長（猪俣直宏君）

契約時にそこをうたうという話も内部では考えていたところもありますが、最初に条件として出してもいいと思っております。

○佐藤文雄委員長

鈴木委員、よろしいですか。

○鈴木貞行副委員長

はい。

○佐藤文雄委員長

ほかにございますか。

○塚本直樹委員

これは民間に委託するときの契約期間というのはどのくらいという縛りか、決めているというのはあるのでしょうか。

○観光課長（猪俣直宏君）

旧佐賀小学校や昨年度末に下大津小学校の廃校活用の際も一応区切りを10年としておると聞いておりますので、最初の区切りは10年と思っております。

〔「10年、短いような気がする」「継続はできるんです」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

10年ということですね。塚本委員、よろしいですか。

○塚本直樹委員

はい、いいです。

○佐藤文雄委員長

ほかにありますか。ないですか。

〔「ないです」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

では、質問もないようですので、本日はこの2つの議題は終わりました。執行部の方は退席して結構です。どうもありがとうございました。

その他でかすみキッチンについての感想を聞こうと思ったんだけど、執行部がいたほうがいいかな。

[「いたほうがいいね」と呼ぶ者あり]

○佐藤文雄委員長

いたほうがいいですね。では、ごめんね。取り消します。かすみキッチンで紹介がございましたので、かすみキッチンの紹介の感想を皆さんにそれぞれ出していただきたいと思いますので、一応情報として会議録に載せていきたいと思いますので、それに対しての回答じゃないですけども、検討の問題も含めてご意見をいただきたいなと思います。

では、私から。試食会で1,500円のハンバーグプレートAのおろし和風ソースハンバーグを食べたんですが、量が少ないという感じがしました。だから、1,500円の値段と量の問題でちょっとミスマッチがあるなという感じがしたんですね。千代田庁舎の近くのボンジュールは、今1,200円でエビフライが2尾ついているんですね。そういうところから言うと、値段の問題とボリュームの問題がちょっと考えなきゃいけないかなというのが私の感想です。

岡崎委員も監査委員を3人誘ってくれれば試食ができ、監査委員も試食すれば監査の意見も出たんですけどね。それでは、鈴木副委員長、どうですか。おいしいもの食べましたか。

○鈴木貞行副委員長

とんかつプレートのC. 秀麗豚ロースカツ&ヒレカツを食べましたが、やっぱり今、委員長が言ったように、ちょっとボリュームが少ないような感じがします。やっぱりトンカツももうちょっと大きくてもよかったかなという感じは受けました。

あと、ハンバーグなんか見てもちょっと小さかったかなと思うんですけども。

[「味はオーケー」と呼ぶ者あり]

○鈴木貞行副委員長

味はよかったです。味はよかったんですけども、見た目がちょっと小さかったし、食べてももうちょっと欲しいかなという感じがしました。

○佐藤文雄委員長

そういうことです。

○石澤正広委員

私はトンカツプレートのB. 秀麗豚ヒレカツをいただいたんですけども、ありがとうございます。肉も柔らかくて、非常においしかったです。何でそれを選んだかという、1,500円台の価格で、カレー、ハンバーグ、またトンカツという中で、ロケーションのところに行って食べるとしたら、何を選ぶかな。女性の方は肉というのはヒレを好んで、1,500円ぐらいだったらいいかなというふうなヒレカツ。ああいうプレートとして、食べてみてどうかなと思ったものですから、それを食べさせていただいて、お肉は柔らかくておいしかったです。今お二人が言ったように、ボリュームについて、ヒレカツなので、そんなに大きくすると価格的には合わなくなるということもあると思うんですけども、私の隣が鈴木副委員長だったので、鈴木副委員長のはCで、ヒレとロースの2種類が入っているんですね。それを見たときにも、また佐藤委員長のおろしハンバーグは、やっぱりちょっと小ぶりかなという気がしました。やっぱり行った先で味がおいしいというのは当たり前なんですけれども、もう一つやっぱり、ああ、すごいよねというものがあるといいのかな、リピーターが来るかなと、そんな気がしました。

○佐藤文雄委員長

俺は田舎者だから。

[「どこか都会人」と呼ぶ者あり]

○佐藤文雄委員長

都会の人は来ないよ。

○塚本直樹委員

私も佐藤委員長と同じハンバーグを食べさせていただいたんですけれども、私、ぱっと見た感じ、何かちょっとおしゃれな感じだなという印象を受けましたので、量に関しては皆さんお話いただいたように、少しちょっと少ないというか、もうちょっとボリュームがあっていいかなというのもあったんですけれども、あとはちょっと、例えば御飯の大盛りだったりとか、そういったものの記載とか案内があれば、もし足りなければ、それがプラス幾らでもいいので、大盛りの人が選択できれば……食べればおなかいっぱいになって満足もいただける……

○佐藤文雄委員長

御飯追加無料とか。

○塚本直樹委員

あとは女性の方など、逆にそこまで要らないという方は、普通の量のライスとかパンでもいいかなと思ったので、もし選択肢があるのであれば、お客さん層に沿った形で満足いただければなというふうにちょっと感じましたので、またご検討いただきたいと思います。

〔「味はよかったの」と呼ぶ者あり〕

○塚本直樹委員

味はおいしかったです。

○佐藤文雄委員長

それぞれ感想を出していただきました。ほかにも宮嶋市長もカレー、何かカツカレーを食べたみたいですが、結構カツカレーだとボリュームがあったというふうにちょっと聞いているんですが、ほかの人たちの意見は聞いておりますか。

○観光課長（猪俣直宏君）

確かにカツカレーはトンカツ定食と同じ数が乗っているので、カツカレーのほうが得かなと

〔「同じにライスでプラスカレーがついている」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

それが一番値段的にリーズナブル。

〔「値段もトンカツ定食にカレーついつちゃったぐらいで1,400円」と呼ぶ者あり〕

○観光課長（猪俣直宏君）

一応皆さんが食べてない、最後に誰も食べないメニューを選んでという市長の希望だったので、みんなハンバーグとカツを選ぶ方が多くて、結果、市長が試食したカレーが一番ボリューム満ちたみたいです。

○佐藤文雄委員長

はい、分かりました。希望から言うと、やっぱり今言ったカレーというか、1,000円を切るくらいのカレーを1つぽんと入れると違うかな。そのカツカレーがボリュームがあって、カツカレーにすればよかったなんて思いますが、そういうことも参考にさせていただいて、検討してもいいかなと思います。

あとほかにありますか。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

カレーは結構多くてオムライスみたいな型に入った御飯となっているんですね。丸い型、カレーは全部それで型取っているんですけれども、それでカレーの御飯は結構多いんです。

〔「型に入るから余計多くなる」と呼ぶ者あり〕

○石澤正広委員

それにカツが乗っていると想像すると、やっぱりそっちのほうがよくない。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

豚の角煮のカレーと牛すじのカレー、カレーの量もそれなりにあるので、いただいたボリュームはハンバーグにしても。

○佐藤文雄委員長

カレーがコンセプトになっちゃたりして。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

あとは実際始まった会社のほうも、社長さんも昨日とおとといと20日にオープンしたわけですけども、毎日出てきて、会社のお付き合いのあるところにも皆さんを案内して、大分来てもらったみたいなので、その辺からも意見のほうは上がってくると思いますので、私のほうでは今、議員のほうから聞いた意見は事業者のほうには伝えて、少しそれで検討をお願いしていきますので。

○鈴木貞行副委員長

1 ついいですか。メニューが前回とあまり変わってないような気がするんですね、そのハンバーグ、トンカツ、カレー。前のときもそうだったんですけども、メニュー自体は塚本工業が決めたんですか。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

それはもう塚本工業さんが決めた。今回一緒に始まったシェフがいろんなところ、もともとフレンチ出身で、その後、つくば山水亭であるとか、どちらかという肉のほうを専門にやってきた経緯もあって、当面まだどれぐらいのお客さんの入りもあるので、取りあえず9品、肉料理の関係で取りあえずスタートすると。今後は少しずつ余裕があればメニューも考えていくというようなお話でした。

○鈴木貞行副委員長

観光客というとお年寄りの方もいると思うので、よく周りで聞くのが、やっぱりおそば、うどんとかもあっていいよねという話をよく聞くんです。やっぱりナマズなんか、天ぷらでもフライでも結構おいしいので、天ぷらそばとか天ぷらうどんに、ナマズの天ぷらをセットにしたそういうメニューもあっていいのかなと思ったんですけども、ちょっと情報というか、提案として。

○佐藤文雄委員長

ほかにございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

なければ、それでは、これで本日の日程は全て終了いたしたいと思います。どうもありがとうございました。

委員会の会議録の作成ですが、委員長に一任いただきたいと思います、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤文雄委員長

では、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の産業建設委員会を散会いたします。

ご苦労様でした。

散 会 午前11時38分

かすみがうら市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により署名する。

産業建設委員会委員長      佐   藤      文   雄